

後援会会長 歓迎の辞  
「時をよく用いなさい」  
(エフェソの信徒への手紙 5 章 16 節)

新入生の皆様、福岡女学院大学・短期大学部・大学院ご入学誠にありがとうございます。また、御父母をはじめとする保証人の皆様、心よりお慶び申し上げます。福岡女学院後援会を代表し、心からお祝い申し上げます。

長らく続いておりましたコロナ禍も今年に入り、感染拡大も徐々に減少し、先月には国の方針としてもこれまで導入されてきましたマスク着用を緩和し、着用するかしないかは個人の判断に委ねられることとなりました。女学院におきましても今年度より学校生活、行事活動がコロナ禍以前に戻っていくことを期待しております。

さて冒頭に掲げました聖書のお言葉、「時をよく用いなさい」は、別訳では「今の時を生かして用いなさい」とあります。ここでの「時」とは、ただ漠然と続いていくという時というのではなく、内容のある、その人の人生において欠くことのできない、「特別な時」という意味の言葉が使われているのです。（「危機」とも訳します）。つまり、その人が時を自分のものにするかしないかによって、その人の人生が決まると神の言である聖書は教えているのです。まさに女学院での限られた学びの時が、新入生一人一人の生涯にわたる貴重な財産となっていくのです。また、女学院が目指す人間像として掲げておりますみ言葉、「わたしはぶどうの木、あなたがたはその枝である。人がわたしにつながっており、わたしもその人につながっていれば、その人は豊かな実を結ぶ。わたしから離れては、あなたがたは何もできないからである」（ヨハネによる福音書 15 章 5 節）は、イエス・キリストにつながれて、愛をもって神を恐れ隣人と共に生き、豊かな実を結ぶことが求められています。過去の歴史の中で、困難や闘いの中で、このみ言葉によって信仰者が支えられ、教会が形成され、社会にも多大な良い影響を及ぼしてきました。ぜひ、この女学院生活の中で勉学に励まれると共に聖書に触れる時間をも大切にしてくださいと思います。そこで救い主イエス・キリストと出会い、神の愛に触れ、その愛によって隣人を支え、生かし、友人・知人を助ける者となって頂きたいと願います。そのことが今の困難が多い時代を乗り越える秘訣であり、女学院での生活が本当の意味で充実していくことになるでしょう。その為に保証人一同、皆さんを見守っております。最後に共に歩まれるご家族の皆様の上に御祝福を祈り、私からのお祝いの言葉とさせていただきます。

2023年4月3日

福岡女学院後援会長 宇山誉